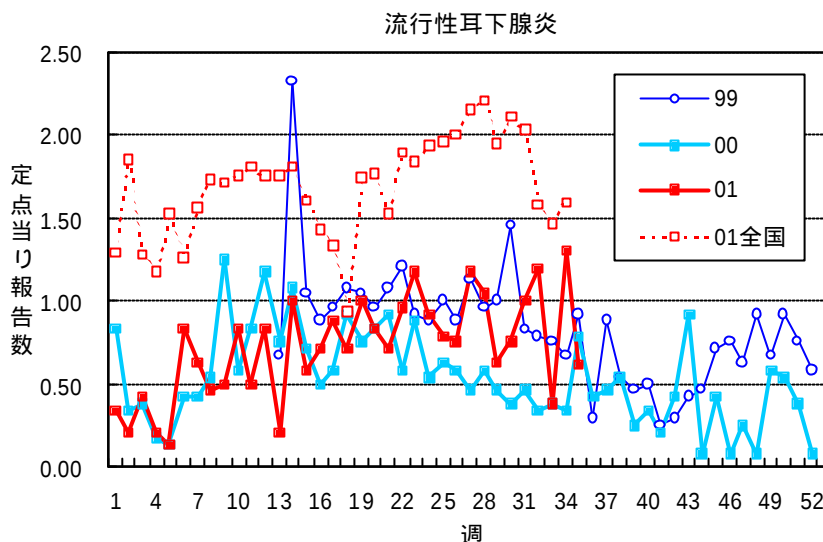


コメント

1. 流行性耳下腺炎

今週は定点当り0.58人と減少しましたが、第16週以降は昨年同時期と比べ、報告数の多い傾向が見られます。全国でも高いレベルで推移しており、今後の動向が注目されます。



4 類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号	疾病名	報告数	定点当り	前年同期	発生記号
インフルエンザ	-	-	-		麻疹(注1)	2	0.09	0.04	
咽頭結膜熱	7	0.30	-		流行性耳下腺炎	14	0.61	0.79	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	0.35	0.63		急性出血性結膜炎	-	-	-	
感染性胃腸炎	32	1.39	1.58		流行性角結膜炎	13	1.63	1.25	
水痘	11	0.48	0.50		急性脳炎(注2)	-	-	-	
手足口病	8	0.35	1.42		細菌性髄膜炎	-	-	-	
伝染性紅斑	8	0.35	0.13		無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
突発性発疹	20	0.87	1.21		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.14	
百日咳	2	0.09	-		クラミジア肺炎(注3)	-	-	-	
風疹	2	0.09	-		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	11	0.48	0.96						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.15～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1～1.5の増減
横ばい	→		殆ど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 36 (小児科定点含む)
小児科定点数 23
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 成人麻疹を除く

(注2) 日本脳炎を除く

(注3) オウム病を除く

1 類～4 類感染症報告状況 (全数把握対象分)

類型	疾病名	報告数	累積
3	腸管出血性大腸菌感染症	5	31 西区・女性・3歳, 西区・男性・4歳, 西区・女性・41歳 佐伯区・男性・3歳, 佐伯区・女性・2歳
4	ライム病	1	1 男性・24歳 (推定感染地:北海道)

4 類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

			インフル エンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹（注1）	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎（注2）	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（注3）	成人麻疹
報告数	広島市	第33週	-	2	6	30	8	22	9	28	-	1	18	-	9	-	18	1	-	2	3	-	-
		第34週	-	-	6	40	17	11	9	30	-	-	10	6	30	-	11	3	-	2	3	-	-
		第35週	-	7	8	32	11	8	8	20	2	2	11	2	14	-	13	-	-	1	4	-	-
定点 当り	広島市	第33週	-	0.08	0.25	1.25	0.33	0.92	0.38	1.17	-	0.04	0.75	-	0.38	-	2.25	0.14	-	0.29	0.43	-	-
		第34週	-	-	0.26	1.74	0.74	0.48	0.39	1.30	-	-	0.43	0.26	1.30	-	1.38	0.43	-	0.29	0.43	-	-
		第35週	-	0.30	0.35	1.39	0.48	0.35	0.35	0.87	0.09	0.09	0.48	0.09	0.61	-	1.63	-	-	0.14	0.57	-	-
	広島県	第33週	-	0.76	0.25	1.60	0.52	0.77	0.32	0.85	-	0.03	0.96	0.09	1.05	-	1.65	0.05	-	0.14	0.19	-	-
		第34週	-	0.58	0.23	2.15	0.76	0.55	0.28	1.07	0.01	0.01	0.77	0.16	1.46	-	1.65	0.14	-	0.14	0.14	-	-
	全国	第33週	0.03	0.28	0.23	1.35	0.60	0.75	0.23	0.67	0.01	0.01	1.28	0.13	1.47	0.05	1.53	0.00	0.02	0.07	0.16	0.00	0.05
第34週		0.02	0.27	0.30	1.85	0.67	0.65	0.30	0.96	0.01	0.01	1.01	0.11	1.60	0.05	1.65	0.01	0.01	0.09	0.18	0.01	0.07	

(注1)成人麻疹を除く (注2)日本脳炎を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

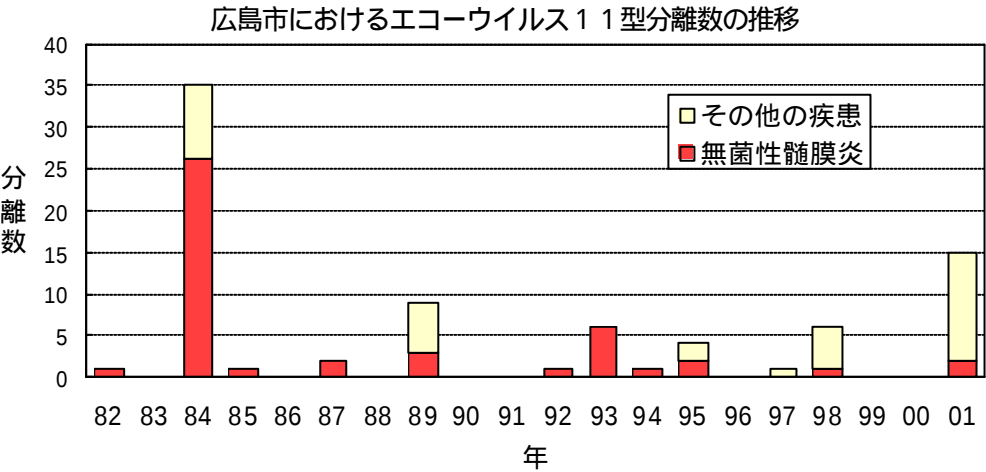
診断名	患者 年齢	性別	住所	発症 年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	3	男	南区	2001/07/24	糞便	ロタウイルス (A群)
無菌性髄膜炎	5	男	不明	2001/06/25	髄液	コクサッキー B 5 型
無菌性髄膜炎	7	男	不明	2001/07/12	髄液	エコーウイルス11型
その他の泌尿生殖器疾患	35	男	不明	不明	陰部擦過物	クラミジア・トラコマチス

検査情報

広島市において1982年以降エコーウイルス11型が最も多く分離された年は1984年で、無菌性髄膜炎を中心に35人から分離されました。

その後は大きな流行も無く、1984年の9人、1993年、1998年の6人の順に多く、散発的に推移していました。

2001年は8月末までに手足口病、咽頭結膜熱、無菌性髄膜炎などの多彩な疾患の患者15人から分離されています。



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2001年第35週(8月27日～9月2日)